

提出
順番

No.
/

平成 30 年 5 月 30 日
午前・午後 2 時 30 分受領

平成 30 年 5 月 30 日

幕別町議会議長 芳 滝 仁 様

幕別町議会議員 谷 口 和



一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
幕別町の花・木・鳥、シンボルマーク等を生かしたまちづくりを	平成 28 年 2 月 6 日、幕別町と忠類村の「合併 10 周年記念事業」として記念式典が開催され、式典の中で「幕別町の魅力を再発見するとともに、未来に向けた郷土愛を育むこと」を目的に、幕別町の花・木・鳥、「シンボルマーク」・「ご当地ナンバープレート」のデザインが公表された。幕別町が、「幕別町シンボルマーク等選考委員会」（以下「同選考委員会」という。）を設置し、多数の応募があった中から候補を絞り、町民投票を実施した。その結果を踏まえ、「同選考委員会」の厳正な審査を経て、町の花を「しばざくら」、町の木を「かしわ」、町の鳥を「おおはくちょう」と制定した。併せてナウマン象とパークゴルフを組み合わせるなどした、町民にとって馴染みやすいデザインと思われる「シンボルマーク」と「ご当地ナンバープレート」も制定されたところである。 幕別町と忠類村の「合併協定書」に掲げられた合併の理念には、「住民の融和、新町の一体感の醸成及び新町全体の均衡ある発展に努めるものとする」とある。この理念に取り組むにあたって、また幕別町の知名度をさらに高めていくうえでも、シンボルマーク等の活用は有効な手法の一つになると考える。ついては、以下の点について伺う。 ① 「しばざくら」、「かしわ」、「おおはくちょう」が、町民に十分周知されているであろうか。周知していくための工夫をすべきと考えるがどうか。

（注）質問の要旨は、具体的に記載すること。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
	② 幕別町役場やナウマン温泉施設の周辺で「しばざくら」が見受けられるが、他の公共用地では「しばざくら」の植栽が少ないように思う。幕別町として公共用地に「しばざくら」の植栽を広げる考えはあるか伺う。 また、「協働のまちづくり支援事業」の「公区環境美化支援事業」を活用して札幌市第一公区が「しばざくら」の苗を植栽したことが新聞報道された。しかし、事業開始3年目にして初めての利用であったと聞く。今後、この事業の利用をどのように促進していこうとしているか伺う。 ③ 「幕別町シンボルマーク」の使用は「要綱」で定められ、承認を得ることで様々なイベント等の配布物などに無料で使用できることとされている。「幕別町シンボルマーク」の使用状況について伺う。 また、「パオくん」、「クマゲラくん」がデザインされた「幕別町マスコットキャラクター意匠（平成25年10月1日要綱施行）」についても使用状況を伺う。 ④ 原動機付自転車用など5種類ある「ご当地ナンバープレート」の使用状況と、使用状況に対する評価を伺う。 ⑤ 国土交通省は、「自動車用ご当地ナンバー」に道内から初めて「苫小牧」と「知床（根室管内中標津、別海、標津、羅臼の4町とオホーツク管内斜里、小清水、清里の3町の計7町）」の2地域を採用すると発表した。2020年度から新地名に加え、景勝地や名所のイラストをあしらった自動車のナンバープレートが交付可能になる制度である。「知床ナンバーを付けた車が走りだせば『走る広告塔』として、知床の名を全国に発信する力になる」と採用された町では大歓迎をしているという。 また同時に国土交通省は、「地方版図柄入りナンバープレート（既存の地名の図柄入り）」を今年10月から全国41地域で交付することも発表した。「くまモン」をあしらった熊本県や、富士山の遠景をデザインした静岡県富士宮市（ほか4市町）、プロ野球球団「広島東洋カープ」のロゴを描いた広島県福山市（ほか7市町）など、地域ならではの多彩なプレートが決まったとのことである。 「自動車用ご当地ナンバー」、「地方版図柄入りナンバープレート」の募集が再開された際には、幕別町が先頭に立ち、導入に向け管内自治体と協議すべきと考えるがどうか。